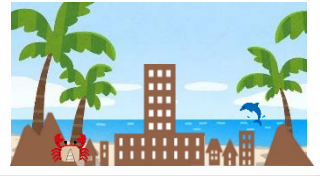




7月 公立八鹿病院 地域医療連携室だより



空の青がひとときわ眩しい季節となりました。皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は当院の医療連携について格別のご理解とご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。今月は循環器内科をご紹介します。

循環器内科

「高齢者の心疾患について」

日本は世界に類を見ない超高齢化社会に入りつつありますが、高齢化に伴い近年増加している心疾患として、心不全、心房細動、大動脈弁狭窄症が挙げられます。

高齢者における心不全の多くは、左心室の収縮力(駆出率)が保たれた心不全(HFpEF)であり、原因が一様ではなく、背景に心筋疾患・心筋虚血・不整脈が隠れていることも少なくありません。したがって、高齢者で息切れ・動悸・呼吸困難・浮腫などの症状が出現した場合、利尿薬投与でその場をしのぐだけでなく、進行防止に向けて原因や誘因の精査が必要です。また HFpEF は左室駆出率が低下した心不全(HFrEF)と異なり、標準治療は未確立であり、個別に病態を把握して治療に当たることが必要です。

心房細動は60歳以上で急増し、80歳以上では10~20人に1人は心房細動があると言われています。未治療の心房細動の約3割が脳梗塞を発症するとされ、早期に発見して適切な治療を行うことが重要です。治療として、抗凝固療法、レートコントロール治療(薬物治療)、リズムコントロール治療(薬物またはカテーテル治療)があり、適応のある場合はカテーテルアブレーションが推奨されます。

大動脈弁狭窄症は、若年者では原因として先天性(二尖弁)が多数ですが、高齢者では動脈硬化性(弁硬化)が多数です。70歳を過ぎてから心雑音を指摘された場合は、大動脈弁狭窄症を疑い、心エコー検査による原因精査が必要です。大動脈弁狭窄症が進行した場合、治療法として従来は開胸手術による弁置換術が主流でしたが、近年では超高齢者でも受けることが可能なカテーテル治療による経皮的な大動脈弁留置術(TAVI)が普及しつつあります。

公立八鹿病院では、カテーテル治療や心臓手術は実施していませんが、診断や最適治療決定に必要な高度検査装置(超音波検査、CT冠動脈造影、心臓MRI、心筋シンチグラフィなど)が充実しており、高齢患者さんにとって身体の負担にならない検査が可能です。その結果により、最適な治療方針について循環器内科医師がご相談に応じ、必要な場合は専門病院へご紹介いたします。

また当院では本年6月から、洞不全症候群や房室ブロックに対する永久ペースメーカー植込み術を開始しました。

日常生活で息切れ・動悸・不整脈・浮腫などの症状が出現した場合、「年のせいだから仕方がない」と見過ごさず、積極的に当院循環器内科までご紹介いただければ幸いです。



循環器内科 後藤 葉一



乳腺外来をはじめます！

令和4年7月20日から、公立豊岡病院組合立豊岡病院からの診療応援のご協力により、乳腺外来を開始いたします。

【 診察日 】 第1・第3水曜日（予約制）

受付・診察 13:30～15:30



【 担当医 】 水田 誠 医師

公立豊岡病院組合立豊岡病院乳腺外科部長

乳房について不安やお困りの方がおられましたら、ご紹介ください。

<お問合せ> 公立八鹿病院 外科外来

ペースメーカー植込み術をはじめました

このたび、6月よりペースメーカーの植込み術を再開いたしました。ペースメーカーの電池交換は今までも対応可能でしたが、ペースメーカーの植込み術については数年前より中止しており、今年4月から循環器内科の常勤医師が着任となり、6月から再開となりました。

患者さんのご紹介をよろしくお願いいたします。

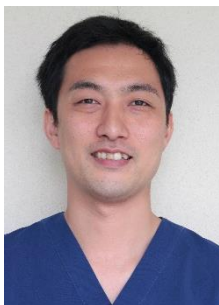


ペースメーカー

医師の異動

【 着 任 】

（7月1日付） ～3ヶ月間よろしくお願いいたします～



（ 外 科 ）
かわしま もとはる
河嶋 基晴

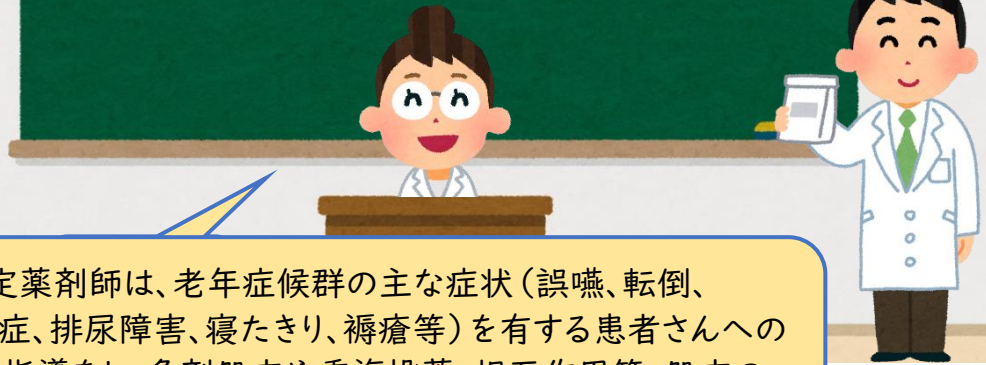
神戸大学心臓血管外科より7月に八鹿病院に着任となりました。消化管外科手術をはじめ、外科系救急や循環器疾患の患者管理など、幅広く貢献できるよう努めさせていただきます。

【 退 任 】

（6月30日付） ～お世話になりありがとうございました～

（ 外 科 ） 小阪 周平 （ 産婦人科 ） 中嶋 雅彦

老年薬学認定薬剤師のご紹介



老年薬学認定薬剤師は、老年症候群の主な症状（誤嚥、転倒、せん妄、認知症、排尿障害、寝たきり、褥瘡等）を有する患者さんへの薬学的管理・指導をし、多剤処方や重複投薬・相互作用等、処方の見直しに関してチームで提案や調整を行っています。

高齢者を取り巻くお薬の環境・・・多剤併用（ポリファーマシー）の問題

高齢者では、生活習慣病等と老年症候群が重積し、治療薬や症状を緩和するための薬物の処方が増加し、多剤服用になりやすい傾向があり、薬物有害事象のリスク増加、飲み間違い、残薬の発生等に繋がることが問題となります。



高齢者の薬物療法の適正化を目指す ～より安心・安全なお薬を～

日本老年医学会の提唱する『高齢者の安全な薬物療法ガイドライン』をもとに、個々の薬剤について継続または変更や中止を検討した処方内容の見直しや、肝・腎機能に配慮した適切な薬用量の調整、処方カスケード(※)の検証などを行っています。また、複数の薬剤投与により期待される効果と副作用の可能性等について、医師と共に総合的に評価を行い、処方内容を検討しています。

また、入院中の処方内容の変更や理由等を、退院後利用する薬局の薬剤師及び地域包括ケアシステムに関わる医療関係者に、お薬手帳やFAX等を活用して情報提供を行っています。

今後はさらに、介護施設や在宅医療、外来等の医療機関を超えた地域での協働に参画していきたいと思っております。



薬剤科 岸田 敬子 ・ 高橋 タ子

※処方カスケード・・・薬の副作用や副次的効果を治療するために、新たな処方が増え、繰り返されて薬の数がだんだんと増えてしまうこと。

17時以降のCT・MRI 検査予約実施中！

CT・MRI 検査の実施時間延長：毎週水曜日 17:00～18:30

CT・MRI 検査のご予約を、お電話でも承っております。



事前予約受付時間の延長

外来診察の事前予約受付時間を（月・火・水・金）の18時30分まで延長していますのでご利用ください。

公立八鹿病院 地域医療連携室

TEL 079-662-5555（代表） FAX 079-662-3143（直通）

7月・8月 養父市・朝来市医師会応援 日直予定表

7月 3日(日)	大屋診療所	加藤 健 先生(内科系)
7月17日(日)	出合診療所	中村 武志 先生(内科系)
7月31日(日)	正垣耳鼻咽喉科クリニック	正垣 一博 先生(外科系)
8月 7日(日)	さかもと医院	坂本 健一 先生(内科系)
8月21日(日)	大屋診療所	加藤 健 先生(内科系)



7月・8月 休診情報

日	月	火	水	木	金	土
7/10	7/11 ×整形 坂本医師	7/12 ×内科 森田医師 ×整形 坂本医師	7/13 ×整形 坂本医師	7/14 ×整形 坂本医師	7/15 ×整形 坂本医師	7/16
7/17	7/18 	7/19 ×眼科 森松医師	7/20	7/21	7/22 ×外科 安達医師 ×眼科 森松医師	7/23
7/24	7/25	7/26 ×総診 倉橋医師 (代診あり)	7/27 ×内科 島田医師	7/28 ×眼科 森松医師	7/29 ×内科 藤澤医師 ×眼科 森松医師	7/30
7/31	8/1 ×外科 西田医師	8/2 ×胃腸 岸本医師	8/3 ×胃腸 岸本医師	8/4 ×胃腸 岸本医師 ×外科 西田医師	8/5 ×内科 堀川医師	8/6
8/7	8/8 ×脳外 千葉医師	8/9	8/10	8/11 	8/12 ×内科 堀川医師 ×内科 藤澤医師 ×脳外 福森医師 ×泌尿 谷風医師	8/13
8/14	8/15 ×内科 藤澤医師 ×脳外 千葉医師	8/16	8/17	8/18	8/19	8/20

7月1日やぶ市民交流広場において、応援旗の贈呈式がありました。

公立八鹿病院を応援する会の皆さんが、「コロナ禍等、昨今厳しい状況が続く中、最前線で活躍されている公立八鹿病院の医療従事者および職員の皆さんに、敬意と感謝の気持ちをお伝えしたい」として応援旗をつくれ、八鹿病院にご寄贈いただきました。



応援を頂き、ありがとうございました



こうりつようかびょういん

公立八鹿病院 地域医療連携室 〒667-8555兵庫県養父市八鹿町八鹿 1878-1

[TEL] 079-662-5555 (内線 1360) [FAX] 079-662-3143 (直通)

[E-mail] renkeisitu@hosp.yoka.hyogo.jp